

マーケティングテクノロジーによる 新商品開発と効果的なプロモーション 戦略の企画・支援



研究概要

松林研究室では専門分野である経営学・マーケティングテクノロジーを効果的に活用した新商品開発やプロモーション戦略の研究をしています。具体的には、Needs, STP, 4Pの基本的な市場調査、並びに戦略分析から最新のビックデータを活用した統計学的な分析も加えて企業にとって最適なマーケティング戦略“なぜ売れないのか?どうしたら売れるのか?”を企画、立案、並びに実行支援します。



図1 折紙:金箔の箔打紙を使用した加賀五彩で彩色されたお土産用のアクセサリー市場調査・分析・戦略立案・ネットワークングを共創



図2 金沢百万石ビール拡販:地元・国内・海外への市場調査に基づいた拡販戦略の立案、補助金申請、実行支援を共創。

今後の展開やメッセージ

これまでの経歴・実績を踏まえて地元企業に貢献することはもちろん、加えて地元ベンチャー企業のお役に立てます様な事例や事業戦略の提供、並びに世界規模のネットワークングをサポートしたいと考えています。

研究者情報



松林 賢司 教授・博士(工学)・MBA

情報フロンティア学部 経営情報学科

所属研究所：地域共創イノベーション研究所

大阪大学工学部応用化学科卒。同大学応用化学専攻博士課程修了。マサチューセッツ工科大学(MIT)スローン経営大学院、清華大学経済管理学院国際

MBA修了。三菱商事・化学品グループ入社。三菱商事(上海)有限公司(化工部 副部長)。金海菱加工有限公司(副総経理)。江蘇富菱化工有限公司(副総経理)。三菱商事・事業開発部(マネージャー)。プロトンC60/パー(株)(取締役)。ピタミンC60/バイオリサーチ(株)(社長)。ナノテクビジネス推進協議会(イベントフォーラム委員長)。Booz & Co.(Senior Adviser)。Thomson Reuters(Consultant) 三菱商事・地球環境・インフラ事業グループ(シニアマネージャー)。2013年本学客員教授就任。2014年本学教授就任。

研究者情報URL

<http://kitnet.jp/laboratories/lab0106/index.html>

Keyword

マーケティング/プロモーション/商品開発/ブランディング/地方共創(CSV)